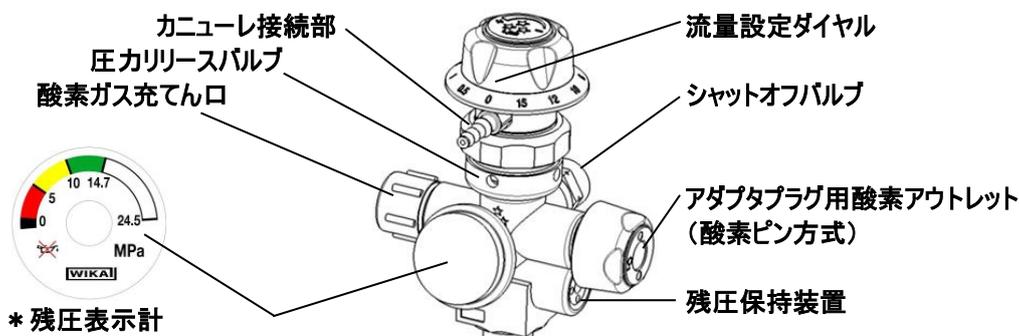


# 医療用酸素流量調整器付きバルブ「酸素で〜る SV」 取扱手引書

ご使用の際には必ず添付文書及び安全上の注意も併せてよくお読み下さい。

## 各部の名称



## \* ご使用方法

### 1 ご使用前に

- (1)本品に外部医療機器を接続する前に、本品のカニューレ接続部及びアダプタプラグ用酸素アウトレットは清潔でかつ損傷・変形がないか目視確認し、もし、汚れを確認した場合は、水で湿らせた不織布で汚れを拭き取り、損傷・変形を確認した場合は、指定の業者に返送して下さい。
- (2)使用予定量に対して酸素の残量が十分であるか残圧表示計で確認し、酸素の残量が不十分である場合、指定の業者に返送して下さい。
- (3)本品の流量設定ダイヤルが「0」の位置であることを確認して下さい。
- (4)流量設定ダイヤルをゆっくりとひと目盛り回して「0.5」の位置に合わせ、放出される酸素ガスに異臭がないか確認したらすぐに「0」に戻して下さい。もし、異臭がしたら、指定の業者に連絡して下さい。
- (5)その後、酸素ガスが出ていないことを確認して下さい。
- (6)カニューレ接続部から供給される酸素を医療機器の作動に使用しないで下さい。
- (7)アダプタプラグ用酸素アウトレットへ接続する医療機器は、出口圧力の最低 2 倍 (0.88MPa) 以上の圧力に耐えられる医療機器を使用して下さい。
- (8)本品を取り付けた酸素ポンペを転倒させないで下さい。

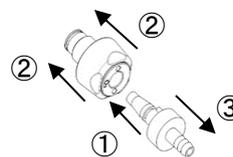
### 2 カニューレ接続部から酸素ガスを使用する場合

- (1)酸素供給用医療機器のチューブを、本品のカニューレ接続部に素手で奥まで確実に差し込み装着して下さい。また、カニューレ等にねじれ、折り曲げ等がないか確認して下さい。
  - ・カニューレ接続部を損傷した場合は使用しないで下さい。
- (2)流量設定ダイヤルをゆっくりと回して、目盛を処方流量に設定して下さい。
- (3)流量設定ダイヤルに表記されている数字の位置で止まっていることを必ず確認して下さい。酸素が本品のカニューレ接続部から医療機器へ流れていることを確認し、酸素の吸入を開始します。

- (4)酸素吸入終了後は、必ず流量設定ダイヤルを「0」の位置に戻し、本品に接続した酸素供給用医療機器のチューブから酸素が出なくなったことを確認して下さい。
- (5)酸素供給用医療機器のチューブを、本品のカニューレ接続部から取り外して下さい。

### \* 3 アダプタプラグ用酸素アウトレット（酸素ピン方式）から酸素ガスを使用する場合

- (1)アダプタプラグ (JIS T 7111 適合、酸素、ピン方式) がついている医療機器を、本品のアダプタプラグ用酸素アウトレットに、素手で奥までカチッと音がするまで確実に差し込み接続して下さい。アダプタプラグを手前に数回軽く引くことによって、接続が十分であることを確認して下さい。
  - ・アダプタプラグ用酸素アウトレットを損傷した場合は使用しないで下さい。
- (2)酸素がアダプタプラグ用酸素アウトレットから医療機器へ流れていることを確認し、酸素の吸入を開始します。
- (3)酸素吸入終了後は、①アダプタプラグを本品側へ軽く押した状態で②アダプタプラグ用酸素アウトレットの緑色部分を本品側へ押し込み、③アダプタプラグを取り外して下さい。



- (4)アダプタプラグ用酸素アウトレットから酸素が出ないことを確認して下さい。

### 4 使用後の保管上の注意

- (1)本品の流量設定ダイヤルを「0」の位置にして下さい。
- (2)本品の全ての接続部及び残圧表示計を適切に保護して下さい。
- (3)屋内の清潔な乾燥した場所で保管して下さい (直射日光、高温、結露、酸性ガス、塩分、油類、ほこり、ゴミ、雨、水などを避けて下さい)。
- (4)近くに火気及び可燃性物質を置かないで下さい。

## 保守・点検にかかる事項

◇使用者による点検を1日1回以上実施して下さい。

- 1 本品は清潔でかつ損傷・変形はありませんか？
- 2 酸素ガスの残量は十分ですか？
- 3 流量設定ダイヤルをゆっくりとひと目盛回して「0.5」の位置に合わせたととき、放出される酸素ガスに異臭はありませんか？
- 4 流量設定ダイヤルが「0」の位置にある時、酸素ガスの漏れはありませんか？

※ もし、油分やほこりなどで汚れていたら、水で湿らせた不織布で汚れを拭き取して下さい。

◇本品を酸素ポンベに取付けた時より5年毎に、指定の業者による定期点検(高压ガス保安法に基づく検査及び医療機器の流量点検)を実施して下さい。

## トラブルシューティング

状態	考えられる原因	解決方法
酸素ガスに異臭がある		直ちに使用を中止し、酸素ポンベごと指定の業者に返送して下さい。
「シュー」というガス漏れ音がある	一時的な内部過圧状態	圧力リリースバルブから音やガスが出る場合、一時的であれば故障ではありません(内部の圧力が解放されると自然に止まります)。
	カニューレ等の接続に緩みがある	カニューレ等をカニューレ接続部の奥まで確実に差し込んで下さい。
	医療機器のアダプタプラグに正しく接続されていない	適切な接続用具のアダプタプラグを使用して下さい。 カチツという音で、確実に接続していることを確認して下さい。
	それでも「シュー」というガス漏れ音がある	直ちに使用を中止し、本品を直ちに火気のない通気性の良い場所へ移動させ、酸素ポンベごと指定の業者に返送して下さい。
流量設定ダイヤルを回すことができない (2か所のアウトレット部に共通) 酸素ガスが出ない または 十分に出ない	本製品が機能しない	本製品及び酸素ポンベを使用することはできません。 酸素ポンベごと指定の業者に返送して下さい。
	酸素の流路に異物が詰まっている 酸素ポンベ内が空である	
カニューレ接続部から 酸素ガスが出ない または 十分に出ない	流量設定ダイヤルが「0」の位置である 目盛と目盛の間で 止まっている	正しい処方流量に設定し、流量設定ダイヤルに表記されている数字の位置で止めて下さい。
	カニューレ等の接続に緩みがある	カニューレ等をカニューレ接続部の奥まで確実に差し込んで下さい。
	医療機器の内部が詰まったか、 または 不具合がある	流量設定ダイヤルを「0」の位置に戻してから、カニューレ等を本製品から取り外し、流量設定ダイヤルを「0」以外の位置に動かして下さい。 ・酸素の流量が回復したら、医療機器を洗浄または交換して下さい。 ・流量が回復しなかったら、酸素ポンベごと指定の業者に返送して下さい。
アダプタプラグ用酸素アウトレットから 酸素ガスが出ない または 十分に出ない	医療機器のアダプタプラグに正しく接続されていない	適切な接続用具のアダプタプラグを使用して下さい。 カチツという音で、確実に接続していることを確認して下さい。
	流量設定ダイヤルが「0」になっていない	流量設定ダイヤルを「0」にしてカニューレ接続部からガスが出ないことを確認して下さい。
	医療機器の内部が詰まったか、 または 不具合がある	医療機器を本製品から取り外し、流量設定ダイヤルを「0」以外の位置に動かして下さい。 ・酸素の流量が回復したら、医療機器を洗浄または交換して下さい。 ・流量が回復しなかったら、酸素ポンベごと指定の業者に返送して下さい。

<b>注意</b>	上記以外の異常や故障が見られるときは、直ちに使用を中止し、酸素ポンベごと指定の業者に返送して下さい。
-----------	--

## 製品保証

- 1 保証期間…… 本品引渡後1年間
- 2 保証範囲…… 保証期間内に、当社の責任により生じた故障及び不具合については、修理もしくは交換を実施致します。
- 3 保証対象外…… 次に示す原因による故障については保証の対象外とさせていただきますので、予めご了承下さい。
  - (1) 添付文書、安全上の注意及び取扱手引書に記載された内容と異なった使用方法による故障
  - (2) 本品を改造、分解もしくは当社指定の業者以外が行った修理による故障
  - (3) その他当社の責任ではないと判断される故障

製造販売業者 : EPJ メディカルサービス株式会社  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7番16号 小川ビル  
 販売名: 酸素で〜る SV/医療機器届出番号: 13B1X10004000072  
 一般医療機器 / 高压ガスレギュレータ / 特定保守管理医療機器

ご使用の際には必ず添付文書及び安全上の注意も併せてよくお読み下さい。